

「DoboX データチャレンジ 2023」の開催結果について

1 要旨・目的

インフラマネジメント基盤「DoboX」のデータ等を活用して、地域課題の解決に有効なアプリケーションやアイデアなどの優秀作品を選考するコンテストの最終審査会を1月20日（土）に開催し、最も優秀な作品「DoboX データチャレンジ 2023 大賞」（2作品）を決定した。

2 現状・背景

県民の安全・安心、利便性の向上など、広島デジフラ構想に掲げる目指す姿を実現するため、令和4年6月からDoboXを運用しており、利用者のニーズに応じた改善を繰り返しながら、県民サービスの向上等に取り組んでいる。

今後、幅広い分野でデータ利活用を促進し、デジタルリテラシー向上、新たなサービス・付加価値の創出につなげていく。

3 結果概要

応募のあった14作品のうち、1次審査を突破した8作品について、最終審査会による公開プレゼンテーションを実施し、各部門の最優秀作品（6作品）、最優秀作品から大賞（2作品）を決定した。（各部門の最優秀作品等詳細は裏面参照）

【大賞作品】

作品名（応募者）	作品概要	部門
Forecast Hazard Map （山本裕規ほか3名）	災害時の適切な避難行動につなげるため、浸水シミュレーションモデルを活用した避難行動支援アプリを提案	アイデア
自主防災組織支援アプリ （株式会社熊平製作所）	激甚化する自然災害から地域住民を守るため、地域防災の担い手である自主防災組織の活動を支援するアプリケーション 2024年度からサービスを開始予定	アプリケーション

※応募者は、個人からの参加は代表者名、企業からの参加は、会社名を記載

※審査は、審査員8名で効果及びオープンデータの活用度で評価（各5段階）を行い、最も評価値が高い作品を大賞に決定。この度は、評価値が同点であったため2作品を選出

【作品イメージ、審査会の状況】



4 今後の予定

今後も、こうした取組を継続的に実施しながら、データ利活用の有用性等を県民に広く発信し、民間事業者等の自由な発想とアイデアから生まれる新たなサービスや付加価値の創出につなげていく。

5 各部門の最優秀賞

部門		作品名 (応募者※)	作品概要	大賞
アイデア	一般	Forecast Hazard Map (山本裕規ほか)	災害時の適切な避難行動につなげるため、浸水シミュレーションモデルを活用した避難行動支援アプリを提案	◎
	学生	日常で災害を、災害で日常を (県立広島大学)	日常からの防災意識を高めるため、平時では VR 体験による防災意識向上、災害時には日常に近い環境整備を行う取組を提案	
データ	学生	安芸高田市に人を集めたい！ (広島工業大学、広島大学、近畿大学ほか)	経路検索を円滑に行うため、安芸高田市全域のコミュニティバス情報を経路検索サービスに活用できるデータを作成	
アクティビティ	一般	DoboX 子供防災マップづくり (株式会社まちケア)	防災意識の向上と GIS リテラシーを身に付けた地域人材を育成するため、親子で防災を考え話し合うプログラムを実施	
アプリケーション	一般	自主防災組織支援アプリ (株式会社熊平製作所)	激甚化する自然災害から地域住民を守るため、地域防災の担い手である自主防災組織の活動を支援するアプリケーション	◎
	学生	移動経路の水害リスクを考慮した避難時間ハザードマップ (県立広島大学)	早期の避難行動を促すため、移動経路の水害リスクを考慮した避難時間ハザードマップ	

※応募者は、個人からの参加は代表者名、企業からの参加は会社名、学生からの参加は学校名を記載

6 参考（審査状況）



審査員長挨拶



発表（移動経路の水害リスクを考慮した避難時間ハザードマップ）



発表（安芸高田市に人を集めたい！）



発表（自主防災組織支援アプリ）



審査員コメント



表彰（Forecast Hazard Map）